

仏教の「中道」に学ぶ……心静かに、長期投資を続ける智慧

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
特別業務顧問
代田秀雄



■はじめに：揺れる相場と、揺れない心

相場が上がると浮かれ、下がると不安になる。

そんな感情の波に翻弄されず、淡々と投資を続けるにはどうすればいいのでしょうか。

そのヒントは、なんと**2500年前の仏教の教え「中道(ちゅうどう)」**にあります。

釈迦が悟りに至ったときに見出したこの「中道」は、

現代の投資行動、特に**パッシブ運用による長期投資**と驚くほど響き合っています。

■パッシブ運用とアクティブ運用……2つの投資アプローチ

投資の方法は、大きく分けて**パッシブ運用**と**アクティブ運用**の2つがあります。

パッシブ運用：市場全体の動きに合わせて投資する方法。

アクティブ運用：市場の中から有望な銘柄を選び、市場平均を上回ることを目指す方法。

ただし、ここで注意が必要です。

「インデックス投資＝パッシブ運用」とは限りません。

インデックス(指数)には、様々な種類があります。たとえば、バリュー株指数やグロース株指数のように投資スタイルに着目したもの、小型株指数などのように企業規模に着目したもの、特定の業種やテーマになど着目した指数などがあります。ただしこれらの指数は広範な市場全体の動きを表したのではなく、パッシブ運用のインデックスとは言えません。

市場全体の動きを忠実に示すパッシブ運用において、代表的な指数には以下のようなものがあります。

市場	インデックス(指数)
日本	東証株価指数(TOPIX)
米国	S&P500指数
全世界	MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス
新興国	MSCI エマージング・マーケット・インデックス

※上記は個人の意見であり、当社の見解ではありません。

■シャープの「アクティブ運用の算術」……投資の世界を変えた短い論文

ノーベル経済学賞受賞者のウィリアム・F・シャープは、資本資産価格モデル(CAPM)を提唱し、モダンポートフォリオ理論の礎を築いた人物です。

彼が1991年に発表した短い論文、「The Arithmetic of Active Management(アクティブ運用の算術)」は、インデックス投資の合理性を“算数”で示した名論文として知られています。

その結論は驚くほどシンプルです。

①コストを差し引く前では、アクティブとパッシブの平均リターンは等しい。

②コストを差し引いた後では、アクティブの平均リターンはパッシブより低くなる。

なぜなら、市場全体の平均がパッシブの成果であり、アクティブ投資家全体の平均も同じ「市場リターン」だからです。違いを生むのはコストだけ。アクティブ運用は売買や調査に費用がかかるため、平均的にはパッシブに劣後してしまう。もちろん、市場平均を上回る少数のアクティブ運用も存在します。しかし、平均的な投資家にとっては、低コストのパッシブ運用こそ最も合理的な選択だとシャープは結論づけています。

■釈迦の「中道」とパッシブ運用の共鳴

釈迦が悟りを開くきっかけとなったのが、「中道」という考えでした。

それはこうした教えです。

極端に走らず、自然体で生き、執着を離れ、変化を受け入れて心を静かに保つ智慧の道。

これを投資の世界に置き換えると、次のように言い換えられます。

パッシブ運用の長期投資とは、相場の極端に動じず、市場の流れに身を委ね、欲や恐れ、執着を離れ、時間の変化を受け入れて資産を育てる智慧の道である。

釈迦の中道が「心の平穏への道」であるように、パッシブ運用の長期投資も「市場との調和の道」といえるでしょう。極端な売買や短期的な予測を手放し、経済の成長を受け入れて淡々と積み立てていく。それは、金融の世界における現代の中道の実践なのです。

■結びに……「平常心」という最大の資産

投資とは、突き詰めれば「心の修行」でもあります。

欲望や恐怖に支配されず、淡々と続ける平常心。

釈迦が説いた中道のように、**極端を離れ、変化とともに歩むことが、長期投資の成功を支える本質なのだと思います。**

相場に惑わされず、平常心で積み立てる。

それが、長期投資家の静かな強さであり、智慧の道です。

中道の心で、資産も心もゆつくり育てる。

それが、ブレない投資の第一歩です。

以上

※上記は個人の意見であり、当社の見解ではありません。

※投資信託にはリスク(投資元本を割り込むおそれ)があり、購入にあたっては手数料等その他の費用がかかります。詳細につきましては、以下のリンク先をご確認ください。

【投資信託のリスクとお客さまにご負担いただく費用について】
[こちら](#)をご確認ください。

【本資料で使用している指数について】
東証株価指数(TOPIX)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
S&P500指数とは、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが公表している株価指数で、米国の代表的な株価指数の1つです。市場規模、流動性、業種等を勘案して選ばれたニューヨーク証券取引所等に上場および登録されている500銘柄を時価総額で加重平均し指数化したものです。
MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

【本資料のご利用にあたっての注意事項等】

- 本資料は、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- クローズド期間のある投資信託は、クローズド期間中は換金の請求を受け付けることができませんのでご注意ください。
- 本資料の内容は個人の見解です。

<ホームページアドレス>

<https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル>

0120-151034(受付時間/9:00~17:00(土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く))

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
東京都港区東新橋一丁目9番1号
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会:一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会